



ひらどだい

令和6年度 学校だより 4月号 横浜市立平戸台小学校学校長 丹波 悟亮



子ども時代

校長 丹波 悟亮

「子ども時代は、大人になるための準備期間ではない。」

さまざまな教育学の方や教育心理学の方が、言っている言葉です。

平戸台小学校の子ども達は、本当に、子ども時代を全身で楽しんでいます。

うれしいことがあると思わずスキップする子。休み時間に、虫かごを持って、どろんこになって、校庭の隅々まで探検している子。友達や先生と一緒に、ドッチボールしたり、サッカーしたり、縄跳びしたり、汗と笑顔と笑いがいっぱいです。1年生から6年生までの交流も盛んです。いろいろな場面で、下の子の面倒を見る上級生、上の子の話をよく聞く下級生を見かけます。異学年交流を通じて、お互いに成長していきます。平戸台小学校の子どもたちは、心根の優しい子が多いです。勉強では、小規模校の利点を生かし、子ども達一人ひとりを大事にした指導が行われています。太陽の光をいっぱい浴びて、たくさんの経験を積んで、心も体も成長する、そんな素敵な1年にしていきたいと願っています。

今年も、学校教育目標「心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」～学びのチャンスを生み出し、自分の可能性にチャレンジし、自信や元気をチャージすること～を目指して、教職員と共に力を合わせ、子どもたちの良さを引き出し、よりよい学校運営に努めて参ります。今後とも保護者の方、地域の方々のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



「心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」に向けて



合言葉は ひらりん cha-cha-cha